

NEC 基幹システム プラットフォーム刷新 概要

【NEC の自社基幹システムについて】

NEC は、経営のスピードアップと業務効率化を目的に、組織や会社毎に個別最適化されていた販売・経理・購買の業務プロセスを標準化すると共に、これらの基幹業務を支える IT システムを SAP 社の ERP ソフト「SAP ERP」を用いて構築し、2010 年から国内外のグループ各社にクラウドサービスとして提供しています。

【今回のプラットフォーム刷新の特長】

1. 経営ビッグデータのリアルタイム処理基盤として「SAP HANA®」を採用

- ・ SAP 社の次世代ビジネススイート「SAP S/4HANA®」適用の第一ステップとして、インメモリプラットフォーム「SAP HANA®」を採用。
- ・ 受注・売上計上や債券消込など日々のオンライン業処理の高速化による生産性向上に加え、グループ各社の処理の高速化によるグループ全体の会計情報の早期把握など経営判断・業務判断のスピードアップを実現。
- ・ 本システムは、国内最大級の「SAP(ERP) HANA®」導入事例。

2. 高可用・高信頼な自社製品を採用し、仮想環境を構築

- ・ エンタープライズサーバ「NX7700x シリーズ」やストレージ「iStorage M5000」、高可用性クラスタリングソフトウェア「CLUSTERPRO X」（注 1）、SDN（注 2）対応製品「UNIVERGE PF シリーズ」など、高可用・高信頼な自社製品を採用すると共に、VMware 社製品による仮想環境を構築。これにより、基幹業務の安定運用と物理サーバ台数の 70%削減を実現。

3. システム運用に「NEC Cloud IaaS」の資産を活用

- ・ NEC のクラウド基盤サービス「NEC Cloud IaaS」（注 3）で実現した仮想統合デリバリ管理基盤等の構築や運用ノウハウなどを活用し、2017 年度までにシステム運用コスト 25%削減やサービス品質向上を実現。

- (注 1) 「SAP HANA」を採用したシステムの障害時、待機サーバへの自動切り替えを実現する機能を製品化済。
なお、CLUSERPRO は、日本を含むアジア・パシフィックにおいて6年連続シェア No.1※の HA クラスターリングソフトである
※出典：IDC White Paper「多様化するプラットフォームの高可用性を実現するクラスターリングソリューション～先進的なベストプラクティスから見える将来～」Sponsored by NEC, Nov 2015
- (注 2) SDN (Software-Defined Networking) : ネットワークをソフトウェアで制御する概念。
- (注 3) 「NEC、クラウド型「SAP HANA 対応サービス」の提供を開始」
http://jpn.nec.com/press/201605/20160525_01.html